

3α-ヒドロキシステロイド脱水素酵素、組換え

Cat. No. NATE-1138

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明 酵素学において、3α-ヒドロキシステロイド脱水素酵素(B特異的)(EC 1.1.1.50)は、次の

化学反 $_{\parallel}$ を触媒する酵素です: アンドロステロン + NAD(P)+ \leftrightarrow 5 α -アンドロスタン-3,17-ジオン + NAD(P)H + H+。この酵素の3つの基質はアンドロステロン、NAD+、および NADP+であり、4つの生成物は5 α -アンドロスタン-3,17-ジオン、NADH、NADPH、および H+です。この酵素は酸化還元酵素のファミリーに属し、特にNAD+またはNADP+を受容体と する供与体のCH-OH基に作用するものに分類され、より具体的にはヒドロキシステロイド脱

水素酵素のグループに属します。

用途 胆汁酸は 3α -ヒドロキシステロイド脱水素酵素の基質の一つです。 3α -ヒドロキシステロイド脱

水素酵素は、臨床においてヒドロキシステロイドの脱水素反□を触媒するために使用されま

す。したがって、HSDは臨床的に総胆汁酸を□出するために使用されます。

則名 ヒドロキシプロスタグランジン脱水素酵素; 3α-ヒドロキシステロイド酸化還元酵素; ステログ

ノスト 3α ; 3α -ヒドロキシステロイド脱水素酵素 (B特異的); 3α -ヒドロキシステロイド 3-脱水素酵素 (B特異的); 3α -ヒドロキシステロイド:NAD (P)+ 3-酸化還元酵素 (B特異的); EC

1.1.1.50

製品情報

外口 白い粉末、凍結乾燥された

EC番号 EC 1.1.1.50

CAS登□番号 9028-56-2

分子量 約28 kDa(SDS-PAGE□出)

純度 90% (SDS-PAGEテスト)

活性 約50U/mgの粉末

等電点 4.8

最適pH 7.0-9.0

活性化因子 EDTA

阻害剤 Hg2+, Ag+

緩衝液 20mM トリス**pH8.0**

単位定義 1ユニットは、 25° CでpH8.9の条件下で 1μ molのアンドロステロンの酸化を1分あたり触媒し

ます。

保管・発送情報

保存方法 4° C、長期保存のために -20° Cで保管してください。